

全国初！
簡易アラート装置の運用開始！

「鳴瀬川等の減災に係る取組方針(平成28年7月5日策定)」の取組の一環として、**全国で初めて簡易アラート装置[※]を試験的に設置**します。

設置箇所は、

①平成27年9月関東・東北豪雨で越水した、大和町落合檜和田地区
(吉田川 左岸 27.3k付近)

②平成27年9月関東・東北豪雨で越水した、大和町鶴巢砂金沢地区
(吉田川 右岸 27.3k付近)

③昭和61年8月5日洪水で決壊した、大崎市鹿島台下志田地区
(吉田川 左岸 16.6k付近)

④過去に決壊したことがあり、平成27年9月関東・東北豪雨でも堤防天端まで水位が上昇した水害リスクの高い地区
大崎市田尻北小牛田地区
(江合川 左岸 18.1k付近)

の4箇所を予定しています。

なお、設置に合わせて、地区住民の方々への説明も行う予定です。

※「鳴瀬川等の減災に係る取組方針」の取組の一環として、水位がある一定の水位まで上昇した際に、回転灯により周辺住民の避難を促すこと等を目的に、当事務所が試験的に開発しているものです。今後、試験設置及びモニタリングを進め、仕様等見直していく予定です。

また、本装置の回転灯による情報は、あくまでも市町村からの避難勧告、避難指示等の情報を補うものとして、地区住民等の方々に活用していただくものです。

■日時

- ① 大和町 落合檜和田地区 (吉田川 左岸 27.3k付近)
9月8日(木) 10時00分～10時30分頃
- ② 大和町 鶴巢砂金沢地区 (吉田川 右岸 27.3k付近)
9月8日(木) 13時30分～14時00分頃
- ③ 大崎市 鹿島台下志田地区 (吉田川 左岸 16.6k付近)
9月下旬頃 予定
- ④ 大崎市 田尻北小牛田地区 (江合川 左岸 18.1k 付近)
9月下旬頃 予定

※雨天等、天候によっては、延期する場合があります。

※大崎市の2箇所については、設置日程が決まり次第、改めてお知らせします。

■場所

- ・試験設置する4箇所の詳細は、別紙のとおり。

■試験設置期間

- ・試験設置日から平成28年11月末まで(予定)

〈発表記者会〉

石巻記者クラブ、古川記者クラブ、宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

問い合わせ先



国土交通省 北上川下流河川事務所
宮城県石巻市蛇田字新下沼80
電話 : 0225-95-0194(代表)

技術副所長 こんの ひろみ
今野 裕美 (内線205)

調査第一課長 おおさわ しゅういち
大澤 修一 (内線351)

①平成27年9月関東・東北豪雨で越水した
大和町 落合檜和田地区
(吉田川 左岸 27.3k付近)

【日時】 9月8日(木)10時00分～10時30分頃



【アクセス】



②平成27年9月関東・東北豪雨で越水した
大和町 鶴巣砂金沢地区
(吉田川 右岸 27.3k付近)

【日時】 9月8日(木)13時30分～14時00分頃



【アクセス】



③昭和61年8月5日洪水で決壊した
大崎市鹿島台下志田地区
(吉田川 左岸 16.6k付近)

【日時】 9月下旬頃(予定)

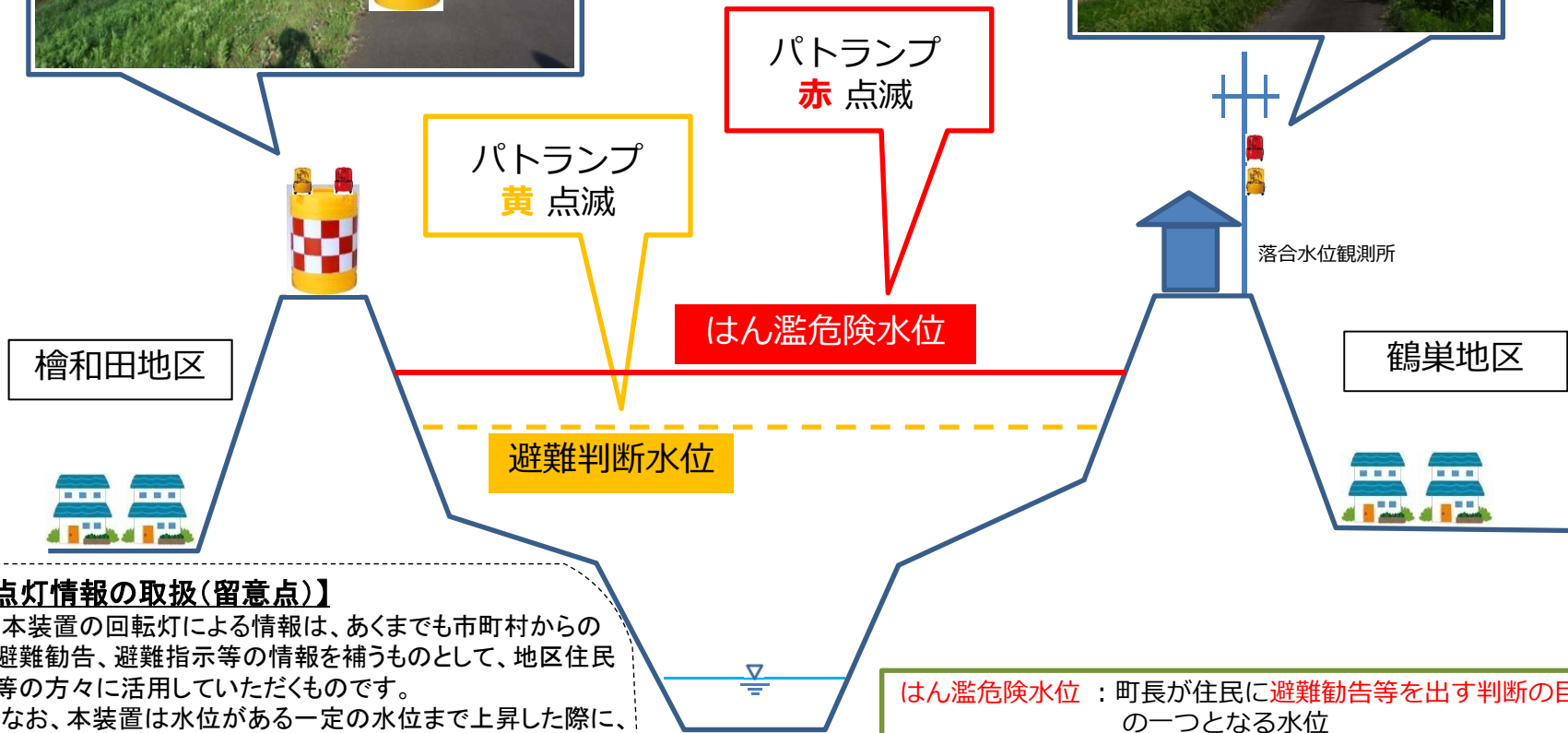


④過去に決壊したことがあり、平成27年9月関東・東北豪雨でも堤防天端まで水位が上昇した水害リスクの高い地区
大崎市田尻北小牛田地区(江合川 左岸 18.1k付近)

【日時】 9月下旬頃(予定)



【大和町 檜和田・鶴巣地区 簡易アラート設置イメージ】



【点灯情報の取扱(留意点)】

- 本装置の回転灯による情報は、あくまでも市町村からの避難勧告、避難指示等の情報を補うものとして、地区住民等の方々に活用していただくものです。
- なお、本装置は水位がある一定の水位まで上昇した際に、回転灯により周辺住民の避難を促すこと等を目的に当事務所が試験的に開発しているものです。今後、試験設置及びモニタリングを進め、仕様等見直していく予定です。

はん濫危険水位 : 町長が住民に避難勧告等を出す判断の目安の一つとなる水位

避難判断水位 : 町長が要配慮者等に避難勧告等を出す判断の目安の一つとなる水位